

第 1 回伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン懇談会 議事録

開催日時	令和元年 11 月 22 日（金）14：00～15：30
開催場所	伊賀市役所 4 階 庁議室
出席委員	久 隆浩（近畿大学総合社会学部） 河 治希（三重県伊賀地域防災総合事務所） 辻村 徳夫（京都府山城広域振興局） 米田 学（奈良県南部東部振興課） 奥田 詩織（社会福祉法人伊賀市社会福祉協議会） 奥谷 博文（社会福祉法人山添村社会福祉協議会） 上出 通雄（伊賀市社会教育委員） 中西 隆夫（一般社団法人観光笠置） 奥 伸也（伊賀市消防団） 仲北 悦雄（笠置町推薦委員） 大仲 順子（南山城村推薦委員） 神保 弘治（山添村推薦委員）
欠席委員	高本 昌平（南山城村社会福祉協議会） 稲垣 八尺（一般社団法人伊賀上野観光協会） 友田 明石（西日本旅客鉄道株式会社大阪支社亀山鉄道部） 松永 享二（島ヶ原地域まちづくり協議会）
議事日程	1. 開会 2. あいさつ 3. 懇談会委員の紹介 4. ビジョン懇談会設置要綱の改正について（報告） 5. 議事 （1）伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン（案）について （2）今後のスケジュールについて 6. その他
議事概要	1. 開会 （事務局） 定刻となりましたので、ただいまから第 1 回伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン懇談会を始めさせていただきます。 本日の議事に入りますまでの進行を努めさせていただきます 企画振興部次長の三枝でございます。どうぞよろしくお願いします。 会議の成立でございますが、委員の半数以上の出席をいただいておりますので、会議は成立しております。 なお、本日は、高本委員、稲垣委員、松永委員から欠席のご報告をいただいております。

ます。

本日の懇談会につきましては、原則公開とし、会議の傍聴を認めておりますことから、本日の会議を傍聴される方、報道関係者の撮影等がある場合は、ご了解とともにご理解をお願いしたいと存じます。また、本日の会議録につきましても公開させていただくこととなりますので、ご了解よろしくをお願いいたします。

それでは、お手元の事項に沿って進めさせていただきます。

2. あいさつ

(事務局)

はじめに、本懇談会の会長であります久会長よりご挨拶いただきたいと存じます。

(久会長) 会長あいさつ

本日は、山添村が加わることによるビジョンの変更について、ご意見いただきたい。

3. 懇談会委員の紹介

(事務局)

ありがとうございました。

ここで新しく委員になられた方のご紹介をさせていただきます。

山添村社会福祉協議会の奥谷博文(おくたに ひろふみ)様、同じく山添村推薦委員の神保弘治(かんぼ ひろじ)様、奈良県南部東部振興課長 米田学(こめだ まなぶ)様が就任されました。

どうぞよろしくお願いいたします。

事項の4に入らせていただく前に、事前に送付させていただきました資料を本日お持ちでしょうか。

資料の過不足がございましたら、事務局へお声かけください。

4. ビジョン懇談会設置要綱の改正について (報告)

(事務局)

続いて、当定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱の改正について、事務局から報告させていただきます。

(事務局)

資料1 伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱により説明。

(事務局)

ビジョン懇談会設置要綱の改正について説明させていただきましたが、何かご質問等がありますか。

それでは、議事に入らせていただきますが、以降の進行は会長様でお願いします。

5. 議事

(1) 伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン（案）について

(会長)

それでは(1)伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン（案）について、事務局より説明をお願いします。

(事務局)

資料2「伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン」の主な変更点について、により説明。

(会長)

事務局からの説明が終わりましたが、何かご質問・ご意見等があればお願いします。

では、私から、山添村が入ったことによって定住自立圏の意味合いがわかるようになりました。山添村は合併しませんでした。緩やかな連携である定住自立圏を選びました。本来の目的をとらえる機会となりました。

(委員)

生涯学習推進事業について、事業を統合するが事業費は合算しなくて良いか。

(事務局)

部会で調整中。必要があれば修正する。

(委員)

削除する事業については、事業費も上げられなくなるがその辺りは大丈夫ですか。

(事務局)

担当課で確認しているので大丈夫。

(会長)

その他に何かご意見はありますか？ないようですのでこれで一つ目の項目を終了させていただきます。

(2) 今後のスケジュールについて

(会長)

	続いて、(2) 今後のスケジュールについて、事務局から説明をお願いします。 (事務局) 資料3 今後のスケジュールについて、により説明。 (会長) 事務局からの説明が終わりましたが、何かご質問等があればお願いします。 その他、何かご意見等があればお願いします。 (委員) 私の村では少子高齢化で人口が減っています。長男長女は残りますがそれ以外の子は出ていってしまいます。小さい頃から山添村の魅力を伝えていくことや、若い夫婦が入れるような住居を作ること、地元に着定できるのではないのでしょうか。 高齢者の移動手段について、車での移動ができなくなる不安を解消するためにも、免許返納した場合のタクシー代の補助等を検討してほしいです。 (委員) 新しい連携というのはあるのでしょうか？ (事務局) 現在は中心市のサービスを圏域に広げている事業がほとんどですが、今後は新しい連携もしていく必要があると思っています。 (委員) 何か事業を始める際、住民同士が意見を交換する場はありますか。 (会長) 住民から連携できる事業を上げたい場合のルールを作った方がいいと思います。 それぞれの市町村の成功事例等を紹介しながら学んでいけばいいのではないのでしょうか。(南山城村の若者や山添村の移住など) (委員) 関西本線の誘客を圏域で働きかけることはできないのでしょうか。 (事務局) 以前から、同盟会で電化等の要望活動は行っていますが、なかなか厳しいです。大阪万博やインバウンドを見据え、今後も働きかけていきます。
--	--

(会長)

要望だけでなく、住民が利用する様々な取組が必要。

- ・電車と観光の事例（滋賀県長浜市）
- ・遠足等での飛行機の利用（但馬空港）
- ・町が住宅用地を造成し、移住を促進（徳島県神山町）
- ・新婚世帯向け住宅の供給（兵庫県猪名川町）

(委員)

バスの定期便が利用しないことによって、減っている状況。それなら、止まっているタクシーを活用できないでしょうか。

(会長)

アプリでタクシーを呼ぶことを実験的にやっているところがあります。高齢者の場合、使い方がわからないので、生活全面をサポートできるソーシャルワーカーが必要。

(委員)

私は失礼ながら山添村へ行ったことがないので、提案としてこのような会議の際は場所を町村に変えることをお願いしたいです。

(事務局)

ぜひ、検討します。

(副会長)

このビジョンをいかに住民が利用できるかを考えないといけないと思います。住民がどれだけビジョンを理解しているか。事業について、住民に明確にすべき時期に来ていると思います。行政が集まった際に話し合ってほしいです。

(事務局)

現在、公共施設の市外料金は高いので、圏域内の住民の利用料金を、少しでも早い段階で下げていく方向で検討しています。圏域内でより一体感が持てるように。

(会長)

事業評価については、連携したことによる評価というものもあります。たくさんある事業の中で特に連携してできたものについて、ピックアップして住民にお知らせしたらいいと思います。

いろいろな事業の中で連携が一番わかる事業は何かありますか。

(事務局)

救急相談ダイヤル 24 は、伊賀市のサービスを圏域に拡大したものです。

(委員)

私は南山城村に住んでいるが、救急相談ダイヤルを 2 回使いました。それで救急で名張の病院に行こうとしましたが、南山城村なので受け入れてもらえませんでした。

(会長)

今のことで窓口があるのに、その後の連携できていないという課題が見つかりました。この場でご意見を聞かせてもらったことで連携ミスが見つかりました。

今回山添村がこの定住自立圏に入りましたが、奈良県は県内での広域連携に力を入れて取り組んでいると聞いているので、無理に 4 市町村が一緒にやる必要はなく、臨機応変に、それぞれの組み合わせで事業を行えばよいと思います。

それでは、この場でいただいたご意見について、また検討いただければと思います。
これで議事を終了させていただき、事務局へ進行を戻します。

4. その他

(事務局)

久会長、どうもありがとうございました。

それでは、最後に 4. その他に入らせていただきます。

議事以外の部分で、会議全体を通して委員の皆様から、何かご質問、ご意見等がございましたらお願いいたします。

それでは、事務局から事務連絡をさせていただきます。

—事務局から事務連絡—

事務局からは以上でございます。

これをもちまして、本日の会議を終了させていただきます。どうもありがとうございました。

— 15 : 30 終了 —